

臨床検査部門 業務到達度

チェックリスト I

施設名

セクション	
領域	緊急検査

対象者	確認者	確認日

【一般目標(GIO:General Instructional Objectives)】

緊急検査について宿日直当番の業務を実施できるようにすることを目標とする。

また、緊急検査項目の意義や役割を理解し、臨床的意義や結果の解釈を考察できるようにする。

【到達目標(SBOs:Specific Behavior Objectives)】

Yes:○ No:×

自己 評価者

1	受付業務を通し、検体の適切な取り扱いを実施することができる		
2	採血管の種類や検体搬送・保存容器の種類について説明できる		
3	検体の受付から結果の報告までの流れを理解し、適切に対応できる		
4	各項目の基準値、臨床的意義を述べることができる。又は参照できる		
5	各項目のパニック値を参照ができ、発生時の対応を適切にできる		
6	生化学分析装置[装置名]を用いて以下の事項が実施できる		
	a. 試薬・消耗品の交換・補充ができる		
	b. 精度管理データの確認ができる		
	c. キャリブレーションが適切にできる		
	d. 検体希釈測定及び再検査が実施できる		
	e. 対象項目の異常値発生時の対応(再検基準等)を適切にできる		
7	凝固分析装置[装置名]を用いて以下の事項が実施できる		
	a. 試薬・消耗品の交換・補充ができる		
	b. 精度管理データの確認ができる		
	c. キャリブレーションが適切にできる		
	d. 検体希釈測定及び再検査が実施できる		
	e. 対象項目の異常値発生時の対応(再検基準等)を適切にできる		
8	免疫分析装置[装置名]を用いて以下の事項を実施できる		
	a. 試薬・消耗品の交換・補充ができる		
	b. 精度管理データの確認ができる		
	c. キャリブレーションが適切にできる		
	d. 検体希釈測定及び再検査が実施できる		
	e. 対象項目の異常値発生時の対応(再検基準等)を適切にできる		
9	血液分析装置[装置名]を用いて以下の事項を実施できる		
	a. 試薬・消耗品の交換・補充ができる		
	b. 精度管理データの確認ができる		
	c. 再検査、判定保留の判断ができる(検体凝固の可能性を推定できる)		
	d. 対象項目の異常値発生時の対応(再検基準等)を適切にできる		
	e. スマア標本を作製できる		
10	輸血業務に関し、以下の事項が実施できる		
	a. 輸血業務マニュアルを理解し、参照できる		
	b. 試薬の交換・補充		
	c. 各種製剤の発注、入庫、出庫、払出し業務		
	d. 交差試験の実施		
	e. 超緊急時の対応ができる		